

**平成30年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 文化振興 課

1. 基本情報

1006

施設名	伊丹市立演劇ホール（アイホール）		
施設の設置目的	市民の自由な創造活動を促進し、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	45,000	今年度の実績値 40,902

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30(上期)	H30(通期)
	来館者数(人)	34,461	44,676	45,689	43,579	50,863	19,224	40,902
	貸し室稼働率(%)	56	59	58	54	54	46	50
	延べ事業開催回数(回)	35	53	49	46	55	26	44
	延べ事業参加者数(人)	7,472	17,507	17,357	14,947	15,469	5,987	12,404

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	3カ年平均
収入	使用料収入	8,700	9,685	8,498	8,961
	事業収入	7,163	14,901	8,837	10,300
	その他	12,781	18,690	17,452	16,308
	指定管理委託料	94,108	90,826	92,227	92,387
	①合計	122,752	134,102	127,014	127,956
支出	維持管理				
	光熱水費	12,998	13,498	11,950	12,815
	清掃等委託料	21,602	21,678	21,784	21,688
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	2,674	1,815	2,543	2,344
	運営				
	人件費	44,842	42,620	44,195	43,886
	事業等経費	30,608	42,869	37,387	36,955
	その他	6,462	6,931	6,377	6,590
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	119,186	129,411	124,236	124,278
純収支(①－②)		3,566	4,691	2,778	3,678

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ 〈単位:千円〉		H25	H26	H27	H28	H29	H30
	市の収入	3,461	1,861	1,980	1,978	1,863	1,860
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	125,389	117,004	111,593	118,192	107,704	101,150
	(内、指定管理委託料)	89,464	89,389	94,067	94,108	90,826	92,227
実質経費(歳出－歳入)		121,928	115,143	109,613	116,214	105,841	99,290

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	水銀灯の生産終了が予定されていることに伴い、省エネ対策としてアウトホールの照明器具をLED化した。また普段より空調や電灯の無駄な稼働時間が生じないよう努めている。	B	施設の経年的な老朽化が進む中、維持管理についての対応を検討する必要があるが、現行、仕様書等に基づき、適正に業務が実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	接遇研修はもれなく受講し、接客対応の向上に努めている。	B	職員の積極的な研修参加により、職員の資質向上が図られ、周辺施設との連携をも強化している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	アリオ管理組合と協力して、緊急時に備えた防火・防災体制を築いている。	B	周辺施設と連携を取りながら、適正に取り組まれている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	利用者からのご意見には丁寧な対応を心掛け、一連の流れは職員全員で周知している。	B	地域との連携および、防犯上のハード面においても積極的に取り組んでいる。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	地域と連携し、伊丹の飲食店を会場とした演劇舞踊の公演を行った。	A	仕様書等に基づき、適正に業務が実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	残席状況などをTwitter等SNSで、迅速かつ高頻度で更新し、積極的な情報発信を実施している。	B	常に新しい広報媒体を積極的に取り入れながら、事業運営に関する積極的な取り組みや知名度向上に努めている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	適切な経理処理により文化庁などの助成金交付を滞りなく受けている。	A	助成金等の獲得に積極的に取り組み、事業費の効率的な活用に努めた。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価 B	助成金を用いながら、費用面も勘案した事業展開を行い、又、積極的に市内小・中・高校生へのアウトリーチ事業やワークショップ事業を行っている。また、施設、設備の管理については経年的な老朽化に対応した効果的かつ効率的な修繕管理に努めていただきたい。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	①（『かむじゅうのぼうけん』アンケートより）いろんなワークショップによく参加しますが、こんなに大満足でリピートしたいと思うものは今までなかったです。 ②（『味わう舞台』アンケートより）またこの企画に参加したい。またこのお店にも来たいです。	①演劇・舞踊のワークショップを通じて、子どもが自由に表現をすることの楽しさを知る機会を、今後も提供していきたい。 ②市内の飲食店と連携することで普段と違った客層も開拓できた。街なかにある施設として今後も地域と連携していきたい。
回答者数		
3,278		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置